



## 包括保税運送に係る承認要件の改正について

越境電子商取引（EC）の拡大に伴う輸入件数の急増や物流業界の人手不足等を受け、包括保税運送（税関長が指定した期間内に行われる保税運送について、一括して承認すること）の承認要件の見直しに係る要望が寄せられていることを踏まえ、このたび、包括保税運送について、**承認要件の見直し**に係る関税法基本通達（63-22）の改正を行いました（2025年10月12日施行）。

### 対象となる運送頻度の見直し（関基63-22(2)）

これまで、保税運送が「継続的に行われること」を求めていましたが、「**承認を受けようとする期間内におおむね月2回以上**」と、明確化しました。詳細については、Q&A問11-2を参照してください。



毎月2回以上の運送が見込まなくても、承認を希望する期間内で「平均して月2回以上の運送見込み」があれば要件を満たします。迷ったときは最寄りの税関に相談してほしいワン！

### 対象となる貨物の見直し（関基63-22(3)）

貨物の類型（例：仮陸揚貨物、通販貨物等）ごとに、利便性向上等のために包括保税運送の対象とするもの、水際取締りの水準を維持するために一定の条件が必要なもの等について整理しました。詳細については、Q&A問11-3を参照してください。

今般の改正でAEO事業者の責任で運送されるものが対象貨物にいくつか追加されたよ



仮陸揚貨物や通販貨物については、水際取締りの水準維持のため一定の条件が必要なんだね



保税ポータルやQ&A問11関連も  
見てほしいワン♪

